

平成24年度 第2回岡山県環境審議会政策部会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：平成24年9月6日（木） 15：30～16：00
- 2 場 所：三光荘 3階「パブリゾン」
- 3 出席者：
  - 委員（五十音順、敬称略）  
岡本輝代志、沖陽子、河原長美、澁谷俊彦、千葉喬三、根岸友恵、宮林英子／計7名（欠席2名）
  - 事務局（県）  
環境文化部次長、環境企画課長、地球温暖化対策室長、環境管理課長、循環型社会推進課長、自然環境課長、事務局職員／計9名

議 題	1 部会長の選出及び副部会長の指名について 2 新岡山県環境基本計画（エコビジョン2020）の見直しについて
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	<b>【議題1】</b> 互選により、部会長に河原長美委員が選出された。 河原部会長より、副部会長に岡本輝代志委員が指名された。
事務局説明	<b>【議題2】</b> （環境企画課長より、資料に基づき説明）
-委員意見- 意見1	・県民の意見を聞く会について、特異な意見は別として、意見を聞いただけにならないようすべきだが、どのように考えているか。また、どのような形で計画に反映していくのか。
環境企画課長	計画の骨子の中に加えられるものについては順次加えている。また、その他の意見についても細かい情報を庁内各部局に示し、可能なものについては反映してもらうようお願いしてまいりたい。
意見2 環境企画課長	・県民意識調査の分析に関して、数値の高い低いについては基準があるのか。特に基準があるわけではない。
意見3	・主要施策・重点プログラム一覧にある「新エネルギー」にはどのような種

地球温暖化 対策室長	<p>類のものが含まれているのか。</p> <p>本県では、太陽光発電、小水力発電、バイオマスの利活用を中心として取り組むことを考えている。また、エネルギーの高度的な利用に関し、電気自動車を併せた取り組みも注目されており、今後考えてまいりたい。</p>
意見 4	<p>・基本目標 1 の主要施策について、新エネルギーの推進と省エネルギーの推進の順番を入れ替えているとの説明があったが、まずは省エネルギーを頑張り、それでも足りない場合に新エネルギーで埋めていくという方が県民への説明としてふさわしいと思うがいかがか。新エネルギーが時流であるが、岡山県が時流に乗るのが良いのか、まずは節約するという方針にするのかについて検討いただきたい。</p>
意見 5	<p>・エネルギーについて、岡山県として、エネルギーの供給をどこに求めているかが決まらなると、目標値を決定できないといった懸念がある。海外では太陽光発電に投資した企業が倒産している例も多々あるため、経済的な面も含め、総合的に考える必要がある。</p>
事務局説明 — 委員意見 —	<p><b>【その他】</b></p> <p>メガソーラーの環境影響評価制度の対象からの除外について（報告） （資料により環境企画課長から説明）</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>